

◇ 教育理念 / 目的 / 目標

北海道医療大学大学院

教育	理念	建学の理念を基本として、大学院の教育理念を以下のように定める。 生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育を推進し、人間性豊かな高度専門職業人の養成ならびに独創的な研究活動を通して、社会の発展と人類の幸福に寄与することを北海道医療大学大学院の教育理念とする。
	目的	北海道医療大学大学院の教育理念に沿って、高度な専門知識・技術の修得に加え、保健・医療・福祉分野の横断的な知識および豊かな人間性を有した高度専門職業人の養成と最先端の研究活動を通じて、社会の発展、人類の幸福に寄与できる教育・研究者の養成を本大学院の教育目的とする。
	目標	北海道医療大学大学院の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。 1. 豊かな学識と人格の養成 2. 高度な専門知識および学術の修得 3. 独創的な研究および研究能力の開発 4. 社会の要請に的確に対応できる教育・研究の推進

大学院心理科学研究科臨床心理学専攻

【修士課程】

教育	理念	本大学院の教育理念を基本として、心理科学の応用領域におけるより高度かつ実践的な専門的知識・技術力、および関連領域の科学技術の発展に対する知識を持ち、Scientist and Practitioner の立場から地域的・国際的に貢献しうる高度専門職業人の養成を目指し、もって人類の心の健康および心の教育研究の発展に寄与することを心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念とする。
	目的	心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念に沿って、高度かつ実践的な専門的知識・技術力、および関連領域の科学技術の発展に対する知識を持ち、Scientist and Practitioner の立場から地域的・国際的に貢献しうる高度専門職業人の養成を本専攻の教育目的とする。
	目標	心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。 1. 深い学識と豊かな人間性の涵養 2. 公認心理師としての高度な専門知識および学術の修得 3. 臨床心理学領域における研究能力と問題解決能力の涵養 4. 高度専門職業人としての臨床心理領域における社会的要請への対応力の涵養

【博士課程】

教育	理念	本大学院の教育理念を基本として、心理科学の応用領域におけるより高度かつ実践的な専門的知識・技術力、および関連領域の科学技術の発展に対する知識を持ち、Scientist and Practitioner の立場から地域的・国際的に貢献しうる高度専門職業人の養成を目指し、もって人類の心の健康および心の教育研究の発展に寄与することを心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念とする。
	目的	心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念に沿って、高度かつ実践的な専門的知識・技術力、および関連領域の科学技術の発展に対する知識を持ち、Scientist and Practitioner の立場から地域的・国際的に貢献しうる高度専門職業人の養成を本専攻の教育目的とする。
	目標	心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。 1. 深い学識と豊かな人間性の涵養 2. 公認心理師としての高度な専門知識および学術の修得 3. 臨床心理学領域における研究能力と問題解決能力の涵養 4. 高度専門職業人としての臨床心理領域における社会的要請への対応力の涵養

北海道医療大学大学院心理科学研究科臨床心理学専攻三方針

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【修士課程】

以下の要件を満たし、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として自立できる者と認められ、修了後は公認心理師として社会に貢献することが期待できる能力を修得した者に対して、「修士（臨床心理学）」の学位を授与する。

1. 心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）課程に2年以上在学し、本研究科が定める履修上の要件を満たしている。
2. 研究指導を受け、学位論文を提出し、本研究科が行う論文審査および最終試験に合格している。

【博士課程】

以下の要件を満たし、臨床現場、教育・研究領域において必要な指導的能力と研究能力を修得し、人の尊厳を重んじて、社会に貢献できると認められる者に対して、「博士（臨床心理学）」の学位を授与する。

1. 心理科学研究科臨床心理学専攻（博士課程）に3年以上在学し、本研究科が定める履修上の要件を満たしている。
2. 研究指導を受け、学位論文を提出し、本研究科が行う論文審査および最終試験に合格している。

教育課程編成・実施の方針 （カリキュラム・ポリシー）

入学者受入れの方針 （アドミッション・ポリシー）

【修士課程】

心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 実証に基づく臨床心理学教育課程として、科学者・実践家モデルの視点を涵養しつつ、公認心理師を養成するカリキュラムを設ける。臨床現場に提供する人材の質を保証するために、関連する身体医学的領域の専門家ともチーム作業ができる実践家としての能力を育成するカリキュラムを設ける。
2. 講義科目の評価はプレゼンテーション・討論の参加状況や筆記試験、レポート等を用いて評価する。実習の評価は、プレゼンテーション・討論の参加状況とクライアントのアセスメント結果および心理的支援の実技等を通して行う。修士論文作成に当たり、指導担当教員による形成的評価を継続的に行い、研究態度、課題研究到達度および最終年次における研究発表会、修士論文審査基準に基づいて総合的に評価を行う。

【博士課程】

心理科学研究科臨床心理学専攻（博士課程）の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 修士課程のカリキュラム履修を前提として、現場における指導者的能力、研究者としての能力を形成するために、基礎心理学および臨床心理学の両者にわたった幅広い教育カリキュラムを設ける。
2. 講義科目の評価はプレゼンテーション・討論の参加状況やレポート等を用いて評価する。博士論文作成に当たり、指導担当教員による形成的評価を継続的に行い、最終年次における研究発表会、口頭試問、学力検査および博士論文審査基準に基づいて総合的に評価を行う。

【修士課程】

心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）では、保健・医療・福祉・教育、司法・産業の領域における心理臨床の高度専門家である公認心理師として、人類の幸福に貢献する志のある以下の資質を持った人材を求めます。

1. 大学における公認心理師養成カリキュラムを履修し、入学後に必要な知識および技能を修得している人
2. 心理臨床において、科学者実践家として幅広く心の問題に向き合う基礎的研究能力と志を有している人

【博士課程】

心理科学研究科臨床心理学専攻（博士課程）では、保健・医療・福祉・教育、司法・産業の領域における心理臨床の高度な教育指導者および研究者として、人類の幸福に貢献する志のある人材を求めます。また、修士課程の能力に加えて、臨床の現場、教育・研究機関等において指導者となる志を持つ人材を求めます。